

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会		主 査 名：後藤治 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史意匠本委員会		委員長名：初田亨 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害による文化財建造物や歴史的環境の滅失を防ぐための施策を検討する。 ・2007 年度 文化遺産の災害後に必要とされる活動を整理する ・2008 年度 文化遺産の災害後に必要とされる活動のマニュアルを作成する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：後藤治 (工学院大学)、副主査：足立裕司 (神戸大学)、幹事：稲垣景子 (横浜国立大学)、藤田香織 (東京大学)、委員：村上裕道 (兵庫県)、益田兼房・大窪健之 (立命館大学)、花里利一 (三重大学)、長谷見雄二・安井昇 (早稲田大学)、河合直人 (建築研究所)、西澤英和 (関西大学)、長尾充 (文化庁)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 次年度、この数年間の総括を行うため、シンポジウムを開催し、災害後の文化遺産に対する保存のための活動マニュアルを出版する予定。
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 本年度中に、災害後の文化遺産に対する保存のための活動マニュアルを出版する予定だったが、作業が遅れ気味で、次年度にまとめることになった。 2. 科学研究費助成金等を得て、研究を進めており、マニュアルに掲載する内容については、順調に充実する方向にある。 3. 次年度は、シンポジウムを 1 回開催する予定。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 地震以外の災害対策についても情報収集の必要がある 2. 3. 委員が多忙なため、全員が集まるのが困難。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。